

令和2年度北海道教育大学旭川校教員養成課程社会科教育専攻
私費外国人留学生入試小論文問題

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開かないこと。
2. 問題紙は、この表紙を入れて全部で2頁あります。
3. 解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚、あります。
4. 解答は解答用紙に横書きとし、句読点および段落の空白も1文字とし、指定された字数内でまとめること。ただし、題・氏名は記入しないこと。
5. 受験番号は、解答用紙の指定欄に記入すること。
6. 解答用紙2枚を提出し、問題紙、下書き用紙は、試験終了後持ち帰ること。
なお、いかなる理由があっても解答用紙以外は受理しません。
7. 試験中に、問題紙の印刷不鮮明、乱丁及び解答用紙の汚れ等により交換を必要とする場合は、手を挙げて監督者に知らせること。

令和2年度北海道教育大学旭川校教員養成課程社会科教育専攻
私費外国人留学生入試小論文問題

以下の文章を読んで、次の問1、問2に答えなさい。

人はことばで何かを伝えようとする。ところが、結果として相手に伝わるのは、伝えようとしたメッセージだけではない。そういう「ことば」で伝えようとしたその人間の在り方も同時に伝わってしまうのである。ある人はある対象を表現しようとし、別の人は別の対象を表現しようとする。まず、この表現対象の選択に、それぞれの人柄が映る。同じ対象を選んだとしても、ある人はその対象のある面をとりあげ、ある人はそれとは別の面をとりあげるだろう。仮にだれかとだれかが同じ対象の同じ側面をとりあげたとしても、その扱い方に違いが出るはずだ。似たような扱いをしても、一方はそれを、あることばを選びある順序に並べて表現し、他方はそれを、別のことばを選び別の順序に並べて表現するにちがいない。

たとえば、天を仰いで、ある人は「晴れた空」と言い、ある人は「青い空」と言い、またある人は「紺碧^{こんぺき}の空」と言う。またある人は「雲ひとつない空」と言い、別の人は「見ているとこわくなるほど澄んだ深い空」などと言う。また、たとえば空腹を感じて、ある人は「腹が減った。飯を食おう」と言い、他の人は「おなかがすいたわ。ごはんをいただきますしょうよ」と言う。また、あるとき、ある人は「だれにでも足りないところはあるものだ」と言い、別の人は「欠点のない人間などどこにもいない」と言うかもしれない。

ことばの選択ひとつにも、その人間が映る。ことばは、むろん、そのことばが指示する意味という論理的なある情報を運ぶが、同時に、そのことばにまつわりついている語感という情緒的な情報をも運ぶ。「ピフテキ」ということばからは、「ステーキ」という意味とともに、そのことばの使い手が年寄りっぽい感じも伝わる。「終戦後」と言うか「敗戦後」と言うかで、その人間の考え方の違いがわかり、日ごろの思想傾向めいたものをも感じさせる。

(中村明(2000)『現代名文案内』ちくま学芸文庫。一部改変。)

問1. 下線部について、本文以外の具体的な例をあげながら、200字以上250字以内で説明しなさい。(50点)

問2. この文章全体についての感想を、800字以上900字以内で述べなさい。(150点)